

マスク着用について

マスクについては、着用をお願いする場合とそうでない場合がありますので、適切な対応をお願いします。
特に夏場においては、熱中症予防の観点から、可能な場面では、マスクを外していただいで構いません。

1. マスク着用の基本的な考え方

	身体的距離(※)が確保できる ※2m以上を目安		身体的距離が確保できない	
	屋内(注1)	屋外	屋内(注1)	屋外
会話を行う	着用を推奨する (十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可)(注2)	着用の必要はない (公園での散歩、ランニング、サイクリング等)	着用を推奨する (休憩室等限定スペースでの会話等)	着用を推奨する (屋外イベントでの近距離の会話等)
会話をほとんど行わない	着用の必要はない (図書館での読書、芸術鑑賞等)	着用の必要はない (同上)	着用を推奨する (通勤電車、人混みの中等)	着用の必要はない (徒歩での通勤など屋外で人とすれ違うような場合)

(注1) 屋内とは、外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など

(注2) 換気及び距離が保たれた会議等で発言しない場合は「着用の必要はない」

(注3) 「着用の必要はない」場面のうち、お年寄りと会う時や病院に行く時などハイリスク者と接する場合にはマスク着用を推奨

2. 小学校就学前の児童のマスク着用

- 2歳未満(乳幼児)は、引き続き、マスク着用は奨めない。
- 2歳以上は、保育所等では、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない。ただし、施設内に感染者が生じている場合などは、施設管理者等の判断により、可能な範囲でマスクの着用を求めることが考えられる。

3. 学校等での児童生徒のマスク着用

- 身体的距離が確保できる場合や体育の授業、気温・湿度や暑さ指数が高い夏場においては熱中症対策を優先し、マスク着用は奨めない。
- 部活動では、体育の授業における取扱いに準じつつ、各競技団体が作成するガイドライン等も踏まえて対応し、練習場所や更衣室等での会話や食事、集団での移動にあたっては、マスク着用及び換気などの感染対策を徹底する。